



南部教育事務所便り「南の風」

令和7年9月22日 南部教育事務所 第5号



令和7年度宮崎県いじめ問題子供サミット in 南部を開催しました

令和7年8月20日（水）に小林中央公民館で、令和7年度宮崎県いじめ問題子供サミット in 南部を開催しました。今年度の南部教育事務所管内のいじめ未然防止に係る取組推進校である、都城市立高崎小学校、三股町立宮村小学校、高原町立狭野小学校、都城市立沖水中学校、小林市立細野中学校、えびの市立飯野中学校、宮崎県立都城商業高等学校の7校の児童生徒15名が参加しました。また、当日の様子はオンラインでも配信され、オンラインで参加した学校もありました。

前半は、各学校のいじめの未然防止に関する取組の実践発表でした。どの学校も堂々と発表し、各学校での興味深い取組がたくさん見られました。参加している児童生徒も、メモをとるなどして熱心に耳を傾けていました。

後半は、「いじめをなくすために私たちにできること」というテーマで3つのグループに分かれて、高校生、中学生が司会進行を務め、児童生徒が主体となってグループワークを行いました。最初に「いじめの未然防止のために大切なこと（心がけなければいけないこと）」について意見を出し合い、その後、グループで出たキーワードをもとに「いじめの未然防止につながるメッセージ」を各グループで作成しました。最初は、緊張していましたが、徐々に笑顔が見られ、活発な意見交換が行われるようになりました。

今回のサミットに参加した児童生徒、学校職員からの事後アンケートから、本サミットの「児童生徒がいじめに対して主体的に考え、いじめを未然に防止しようとする機運を醸成するとともに、いじめの未然防止の取組の充実を図り、県内各地での多様な実践を一層推進する」という目的を達成することができたと思います。今回のサミットで各学校の実践発表やグループワークを通しての新たな気付きや学びを各学校に持ち帰り、これからいじめの未然防止の取組につなげてほしいと思います。

『お互いが共によりそう絆づくり』
『小さなありがとうで育つ大きな笑顔の華』
『ありがとうの交換と自分の意見を大切に』



【実践発表の様子】



【グループワークの様子】



【集合写真】

令和7年度ひなたアドベンチャーツアーを実施しました

令和7年7月31日（木）から8月3日（日）の4日間、県外の科学技術施設等の見学をとおして、小・中学生の科学への関心を高め、次世代人財の育成につなげることを目的に、EXPO2025大阪・関西万博、カッピヌードルミュージアム、パナソニックミュージアムへ見学に行きました。4月に募集を行い、県内のすべての市町村から小・中学生あわせて60人が参加しました。

宮崎カーフェリーで神戸港に行き、EXPO2025大阪・関西万博を見学しました。初めに、全員でハンガリー館に行き、その後グループで、様々なパビリオンを自由見学しました。中学生のリーダーを中心に、暑さに負けず、みんな楽しそうに見学する様子が見られました。

カッピヌードルミュージアム、パナソニックミュージアムでも、日本が誇る科学技術や、開発者としての思いの強さに触れ、充実した展示をじっくりと見学し、科学技術の進展を実感できたツアーになりました。



【万博での集合写真】

南部教育事務所のホームページにおいても、随時情報を発信しています。研修等ご利用ください。

<https://cms.miyazaki-c.ed.jp/ssc063>

南部教育事務所HPはこちら

Tel (0986)23-4521

